

アイチ環境取組プラン2020

テーマ	取り組み項目	目標	主な取り組み内容	実績内容	評価	
3大テーマ	低炭素社会構築	①エコ製品・技術開発の推進	・環境負荷低減製品の開発	・次世代エネルギー、環境負荷低減技術 ・開発の継続的テーマ発掘と進捗フォロー	○	
		②エネルギー改革によるCO ₂ 排出量低減	日本鉄鋼連盟低炭素社会実行計画(フェーズI)対応	・各工場での削減計画立案と計画的実行 ・生産省エネ活動の推進 EMS*1最高責任者の合同パトロールによるエネルギー効率改善の現地現物点検	<p>kg-CO₂/t</p>	×(注1)
		③生産活動における省エネ活動の徹底				
		④物流活動における輸送効率の追求	輸送量当り排出量 2006年比13%削減	・動線の整流化 ・モーダルシフト*2 ・積載率の向上 行先別に車単位で荷量をまとめて出荷荷量に合った定期便数の見直し	<p>kg-CO₂/t</p>	○
	資源循環型社会構築	⑤生産における副産物の低減と更なる資源の有効利用	粗鋼量当り排出量 220kg/t以下	・電気炉ダストの再利用 ・瓦礫の社内リサイクル ・廃酸汚泥の社外リサイクル ・清掃汚泥の社外リサイクル	<p>kg/粗鋼</p>	×(注1)
		⑥資源循環型企業に資する事業推進	—	・ASショット®*3の技術PR、拡販 ・自動車100%リサイクル技術テーマ創出		
		⑦物流活動における梱包資材の低減と有効利用	—	・新規対象有無のフォロー	・対象無し	○
		⑧生産活動における水使用量の低減	—	・水使用量管理の継続	・鍛造工場、岐阜工場使用原単位管理	○
	自然共生	⑨自然・生物多様性保全活動の推進	—	・“つなぐ”を意識した取り組みの推進	・各自然共生団体との連携網拡大 ・生物多様性モデル緑地への整備 ・自然共生活動のPR強化	×(注2)
	環境マネジメント	⑩異常・苦情ゼロ活動の推進	異常・苦情 0件/年	・環境法規制値の80%以下管理の徹底 ・未然防止活動の推進	・環境ヒヤリの運用継続実施 ・EMS最高責任者による点検会実施	○
⑪連結環境マネジメントの強化		—	・研鑽会による現地現物確認 ・安全衛生環境部長による国内子会社環境監査 ・化学物質管理の体制強化	・国内関連会社との相互研鑽会の継続実施 ・環境監査の継続実施 ・製品含有化学物質管理の規程制定	○	
⑫全国各地域の都市大気環境改善に資する排ガス低減		—	・低排出ガス車導入実績のフォロー	・フォローの継続実施	○	
⑬ビジネスパートナーと連携した環境活動の推進		—	・製品化学物質情報の入手	・委託加工先からの製品化学物質含有情報入手	○	
⑭グローバル社員教育・啓発活動の一層の強化		—	・環境危険予知トレーニングツールの試用	・環境危険予知トレーニングツール展開拡大	○	
⑮環境情報の積極的開示とコミュニケーションの充実		—	・レポートの発行継続と更なる内容充実 ・環境コミュニケーション活動の充実	・ESG、SDGsを基軸にした情報開示強化 ・本館ビジターセンターでの製品常設展示	○	

注1)新設備の効果最大化とともに、エネルギーロスの改善・定着を図る。

注2)コロナ禍により、イベントが開催できなかった影響による。

*1 Environment Management System *2トラックによる輸送を環境負荷の少ない鉄道や海運に変更すること。 *3 製鋼の過程で発生した副産物をリサイクルした研削材。